

会長メッセージ 総本部会長 古田 哲壯



去る6月3日、尼崎市エーリックにおいて、令和5年度総本部総会が開催されました。その席上、前会長地藏哲暉先生任期満了に伴う役員改選が行われ、図らずも私、古田哲壯が第14代会長に推挙され就任いたしました。

私は祖父初代古田哲壯、父壮修、母壮鶯、叔母毛登山哲鶯の吟詠一家で育ち、幼い頃は少し剣舞もたしなみ、学生時代は他流の詩吟部に入り鍛えられ、昭和48年関西吟詩文化協会に正式に入門いたしました。仕事に従事しながら、コンクールに出るのを楽しみにしたり、関西吟詩の青年部活動に参加もしてきました。父母が培ってきた会を継続発展すべく、兵庫県連合会の諸役も担つてきました。そうした私が思いがけなく創立90周年を迎える伝統ある関西吟詩文化協会の会長を託され、その重責を担えるのかとの思いであり、身の引き締まるところです。関西吟詩文化協会の諸先輩が紡いできた文化を継承発展させていくことが責務と思い、浅学非才でございますが、精一杯頑張つてまいりたいと思っています。会員の皆さまのご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

近年の吟界を取り巻く環境は、世の中の少子高齢化の推移と同じく、会員減少・高齢化現象が続いてまいりましたが、ここ数年のコロナ禍でさらに厳しい状況になりました。「コロナに負けるな」と言い続け、ようやくこの春になつて制限が解除されたものの、会員減少の傾向はなかなか改善できないところです。

とは言つても私達はそのまま受け入れることはできません。「詩吟を詠うことは楽しい」ことを基本に、新たな波を起こすべく、前向きに取り組んでいかなければならぬと思っています。

こうした現状に立ち向かうべく、前会長地藏哲暉先生が掲げられた「自律・自立・自尊」のスローガンを継承し、「楽しい詩吟」を基本に、伝統を守りつつ、時代の様相を加味して、取捨選択して、最善を尽くして以下の目標を掲げ、効率のよい運営を目指してまいります。

一、本部と各会が寄り添い、それぞれの立場を理解し情報交流し、同じ方向に向かうべく努力してまいります。

二、理事・代議員の先生に橋渡しになっていただき、連合会役員・各会会長先生・本部役員の先生たちとの意思の疎通を図つてまいります。

三、各会・連合会にお願いしたいのは地元や地域との交流を一層深め、公益事業の推進に当たつていただきたいことです。

四、財政問題について

長期的な展望に取り組むべく多角的な視野で進めてまいりますので、ご協力お願いいたします。

総本部はこの10月から、「未来につなぐ『和のこころ』」をテーマに創立90周年記念事業を計画し、関西地区大会をはじめ四地区の記念大会を間近に控えているところです。この九十年間の積み重ねは、会員の皆様の熱意とご努力を連綿と受け続けてきたところです。伝統芸術の詩吟を今後も絶やさないよう、次の世代に継承していくなければなりません。今回新体制となつて、公益法人としての誇りと自らの新たな吟詠の歴史を新しいページに書き込んでまいりますので、会員の皆さま諸先生方の絶大なるご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。